

農 地 整 備 事 業(経 営 体 育 成 型)

土地改良事業計画書

とくみつちく
徳光地区

第1章 目 的

本地区は、市域の北東部に位置し、米作を中心の農業が行われる地域である。区画は小さく不整形なうえ、平均地形勾配がI=1/77と平坦地である。また、道路幅員が狭く、大型農業機械の導入などの機械化が進んでおらず、地区内の水路は、殆どが用排兼用水路で老朽化が激しく、水路の漏水や維持管理等の水管理に多大な労力を要している。

近年、農業従事者の高齢化及び後継者不足が課題となっており、担い手育成のための農業構造の確立を目指す。

この状況を改善するため、現在も本地区の農作業を受託している担い手農家に更なる農作業を受託できる体制を整え、安全安心な農産物の生産に取り組む。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農地整備事業(経営体育成型)	京都府京丹後市京丹後町徳光

第2節 地 積

(令和6年3月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名							
農地整備事業 (経営体育成型)	京丹後市	29.4	1.1	-	-	4.2	34.7	
合計		29.4	1.1	-	-	4.2	34.7	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	峰山観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	平成5年～令和4年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (℃)		—	—	—	基準年：昭和30年
降水量	平均(mm)	802. 6	1, 157. 9	1, 960. 5	
	基準年(mm)	—	—	—	
降水日数	平均(日)	56	114	170	
	基準年(日)	—	—	—	
根 雪 期 間		—			
無 霜 期 間		—			
最 多 風 向		—	最大風速 (風 向)	—	最多風向発生時期 最大風速発生年月日

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	1位			2位			3位			4位			5位			備考
峰山観測所																
観測期間	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	
平成5年～令和4年																
最大日雨量(mm)	173.0	H16. 10. 20		157.0	H20. 7. 28		155.0	H18. 7. 18		147.0	H23. 9. 21		143.0	H30. 7. 6		
最大時間雨量(mm)	81	H20. 7. 28	－	67.5	R4. 9. 3	－	51	R2. 8. 11	－	47	H17. 7. 31	－	43.5	R1. 7. 28	－	
最大4時間雨量(mm)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
最大連続雨量(mm)	498.0	H23. 1. 31		366.0	H18. 7. 21		360.0	H30. 7. 8		290.0	H24. 2. 4		282.5	H24. 12. 31		
最大連続干天日数(日)	40	H6. 7. 9～ H6. 8. 17		33	H18. 7. 30～ H18. 8. 31		29	H7. 7. 23～ H7. 8. 20		24	H27. 10. 3～ H27. 10. 26		23	H14. 7. 20～ H14. 8. 11		

3. 海 象

該当なし

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度 (第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高 (m)		備考
	傾斜区分	1/1,000 未満	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～ 15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
										8° ～ 12°	8° ～ 13°	8° ～ 14°						
農地整備事業（経営体育成型）	面積(ha)		8.1	18.7	2.6		29.4	1.1							1.1	22.25	6.95	
	比率(%)		27.5	63.6	8.9		100	100							100			
合計	面積(ha)		8.1	18.7	2.6		29.4	1.1							1.1			
	比率(%)		27.5	63.6	8.9		100	100							100			

(第4表-1-2)

項目 土壤統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表									面 積 (ha)			備 考	
	土 壤 断 面							堆 積 様 式	母 材	事業名				
	色	腐 植	礫 層	酸化沈澱物	土性					泥 炭 層 黒 泥 層 及びグライ層	農地整備事業 (経営 体育成 型)	計		
					表土	下層土								
					一層	二層	三層							
強グライ土壤強粘土還元型	青灰	なし	なし	－	f2	Vf			水積	非固結推積岩	9.2		9.2	D30
強グライ土壤粘土還元型	〃	〃	〃	－	f2	F			〃	〃	2.0		2.0	D32
強グライ土壤粘土班鉄型	〃	〃	〃	－	f2	F			〃	〃	12.8		12.8	D33
強グライ土壤壤土班鉄型	〃	〃	〃	－	me2	F			〃	〃	5.8		5.8	D35
黄褐色土壤壤土マンガン型	黄褐	〃	〃	－	me1	Me			〃	〃	0.7		0.7	I83
計											30.5		30.5	

2. 土地分類

本地区は、河川部に広がる灰色土壤である。

3. 土地利用の状況

(令和6年3月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山林		採草放牧地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農地整備事業 (経営体育成型)	京丹後市	29.4	1.1									4.2	34.7	
計		29.4	1.1									4.2	34.7	

4. 土地所有の状況

(令和6年3月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有	市有	その他 (土地改良区 等)	府有	国有	計	備考
農地整備事業 (経営体育成型)	面積(ha)	30.5	2.9		1.3		34.7	
	受益者数(人)	90					90	
	筆数(筆)	469	174				643	
	権利関係	90					90	
	備考 (関係戸数)	90					90	

第3節 水利状況

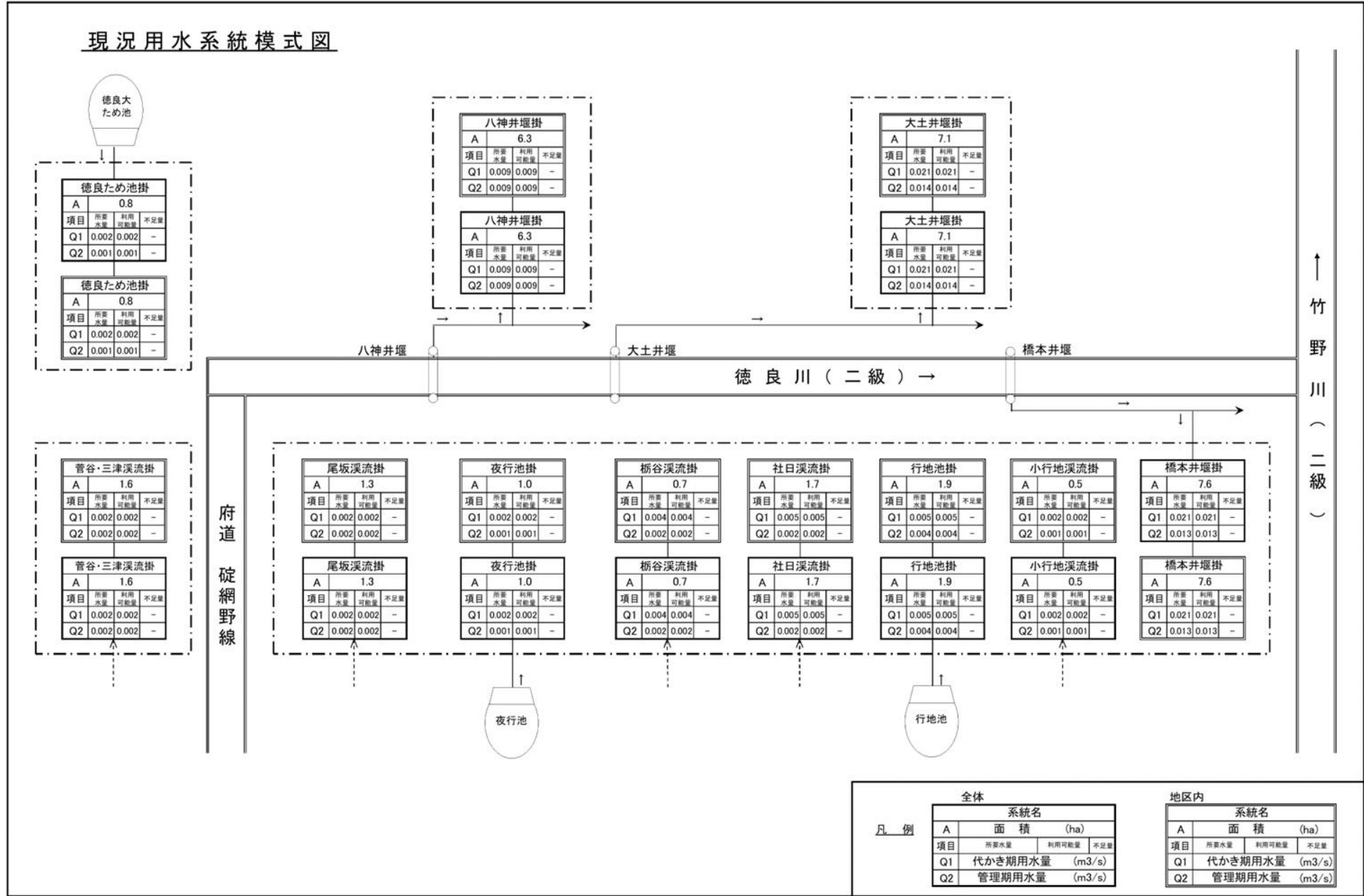
1. 用水状況

本地区の用水状況は、3ヶ所の井堰（八神井堰、大土井井堰、橋本井堰）と3か所のため池（徳良大ため池、夜光池、行地池）から取水している。

（1）用水系統

現況用水系統模式図

別紙参照



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5-1表)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備 考
		100ha以上		100ha～30ha		30ha未満									
	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(m ³ /s)	(箇所)	(m ³ /s)	(m ³ /s)		
農地整備事業 (経営体育成型)	貯水池					3	3.7	3	3.7			3	0.008	0.008	
	井堰					3	21.0	3	21.0			3	0.035	0.035	
	自然取水口					5	5.8	5	5.8			5	0.008	0.008	
	揚水機場														
	その他														
	計			0	0	11	30.5	11	30.5	0	0	11	0.051	0.051	
合 計				0	0	11	30.5	11	30.5	0	0	11	0.051	0.051	

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年度 又は 更新年度	改修を必要 とする理由	備考
農地整備事業 (経営体育成型)	貯水池							
	井堰	橋本井堰	7.6	堰板 コンクリート	B=2.2m H=0.46m	不明	区画整理に伴う 統合	
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路		30.5	コンクリート 水路	8.2km	不明	ほ場整備工事に 伴う改修	排水路兼用
	その他							
	計		30.5		8.2km			
合 計			30.5		8.2km			

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(イ) その他の被害状況 該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

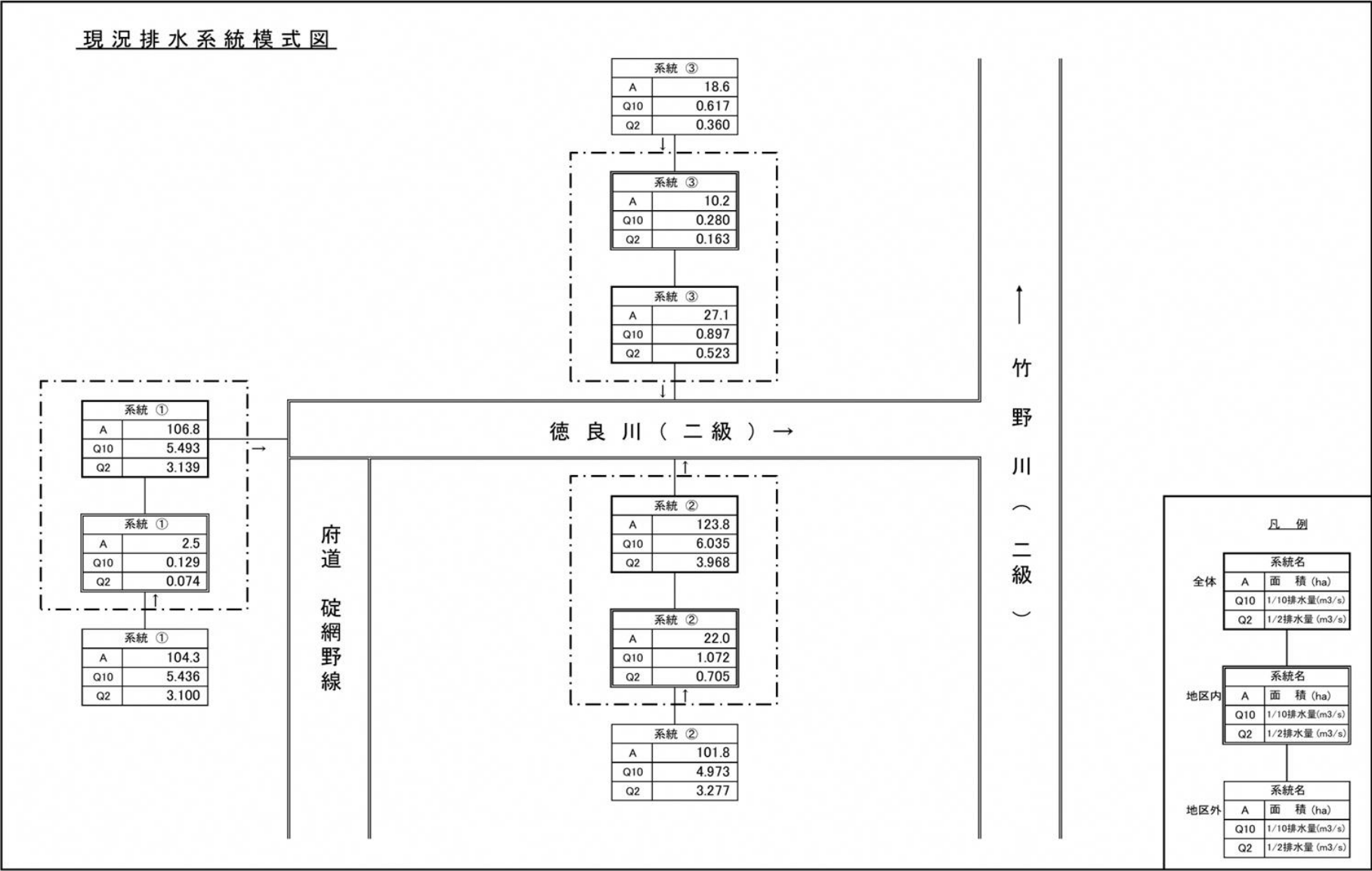
2. 排水状況

本地区の排水路は、全て直接河川に放流する。

(1) 排水系統

現況排水系統図

別紙参照



(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目		排水面積						計		排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考
			100ha以上		100ha～30ha		30ha未満						
	施設名		箇所	(ha)	箇所	(ha)	箇所	(ha)	箇所	(ha)			
農地整備事業 (経営体育成型)	自然	排水路	2	230.6			1	27.1	3	257.7		12.425	地区外を含む
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計		2	230.6			1	27.1	3	257.7	0	12.425	
	合 計		2	230.6			1	27.1	3	257.7	0	12.425	

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年度 又は 更新年度	改修を必要 とする理由	備考
	施設名								
農地整備事業 (経営体育成型)	自然	水門							
		排水路		30.5	コンクリート 水路	8.2km	不明	ほ場整備工事に伴う改修	用水路兼用
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計			30.5		8.2km			
	合計			30.5		8.2km			

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

3. 河川状況

(1) 河川の現況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m^3/s)	既往最大洪水量 (m^3/s)	備考
徳良川	護岸あり	1/182	台形	40.739	—	2級河川

※本河川は、河川改修計画が未策定であることから現況河川断面から想定したもの。(河川協議資料より)

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

第4節 道路状況

1. 道路概況

本地区の道路は、地区の北側に府道碓網野線が位置し、これを幹線道路として東西に道路網を形成している。

地区内の道路は全幅2.0m～3.0mの狭小道路を通作道として利用している。

2. 主要道路一覧表

(第6表)

NO.	路線名	管理区分別	延長 (km)	幅 員(m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			
1	府道碓網野線	京都府				アスファルト舗装	否	
2	市道大門橋本線	京丹後市				〃	〃	
3	市道橋本中央線	〃				砂利	〃	
4	市道徳光西小田線	〃				アスファルト舗装	〃	
5	市道奥山線	〃				コンクリート舗装	〃	
6	市道栗原尾坂谷線	〃				砂利	〃	
7	農道	〃	5.37	2.0～3.0	2.0～3.0	コンクリート舗装・砂利	要	
計			5.37					

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口 (第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 熱供給 水道業 (人)	運輸 通信業 (人)	卸売業 小売業 (人)	金融業 保険業 (人)	不動産業 物品賃貸業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
京丹後市	25,901	1,715	35	141	22	1,884	5,414	65	769	3,265	369	151	1,313	1,089	9,669	
計	25,901	1,715	35	141	22	1,884	5,414	65	769	3,265	369	151	1,313	1,089	9,669	
比率(%)	100	6.5	0.0	1.0	0.1	7.3	20.8	0.3	3	12.5	1.4	0.6	5.1	4.2	37.2	

※出典：令和2年度「国勢調査京丹後市」による。

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家総戸数 (経営体)	経営耕地広狭別農家数(経営体)											1戸当たり平均農用地面積(ha)						主副業別農家数(経営体)			備考
		例外規定の適用を受けるもの	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	主業	準主業	副業	
京丹後市	1,550	21	286	561	231	115	97	94	73	42	16	14	1.67	0.26	0.09	2.01	-	2.01	200	199	1,077	
計	1,550	21	286	561	231	115	97	94	73	42	16	14	1.67	0.26	0.09	2.01	-	2.01	200	199	1,077	
比率(%)	100	1.4	18.5	36.1	14.9	7.4	6.3	6.1	4.7	2.7	1.0	0.9	83.1	12.9	4.5	100.5	-	100.5	13.6	13.5	72.9	

※出典：令和2年度農林業センサス

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動 力 農 機 具						主 要 家 畜						備考
	動力田植機		トラクター		コンバイン		肉用牛		乳用牛		採卵鶏		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (100羽)	経営体数 (経営体)	
京丹後市							X	13	334	5	X	2	X:個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの
計							X	13	334	5	X	2	
100戸 当たり数量 (台、頭)										22			
利用戸数 割 合 (%)							0.8		0.3		0.1		

※出典：令和2年度農林業センサス

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名		京丹後市		計	作付け割合 (%)	備考
経営耕地面積 (ha)		2,830				
総本地面積 (ha)		2,655				
区分 作物名		作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)		
田	表作 水稻	1,005		1,005	35.5	
	裏作 小麦	275		275	9.7	
	小計	1,280		1,280	45.2	
畑	春夏作 野菜	-		-	-	
	秋冬作 野菜	-		-	-	
	小計	0		0	0.0	
樹園地	果樹	0		0	0.0	
	その他	-		-	-	
	小計	0		0	0.0	
計		1,280		1,280	45.2	
市町村別延べ作付け率 (%)		45.2				

※出典：平成27年度農林業センサス

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			主要家畜			動力農機具			その他	地域指定	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A			
変化の状況（C年を100とする指数）	総農家数	81.2	61.8	経営耕地	153.1	152.4	水稻	98.6	107	乳用牛	437.6	-	田植機	92.1			農業振興地域	A:R02年(2020年) B:H27年(2015年) C:H22年(2010年)
	主業農家数	81.0	64.5	田	93.3	89.6	小麦	0	-	肉用牛	-	0	トラクター	91.8				
	準主業農家数	63.7	41.8	畑	93.3	69.4	大豆	130.4	84.8	採卵鶏	-	0	コンバイン	70.5				
	副業的農家数	86.4	67.1															
変化の理由	総農家数及び農業就業人口の減少は他産業への流出及び高齢化による。			総農家数の減少に伴い経営耕地も減少している。			農地の減少が見られるが、水稻、麦、大豆は年々増加している。			畜産頭数は年々増加している。								

※出典：2010, 2015, 2020年 農林業センサスによる

第6節 地域環境の概況

1. 地区の概況

(1) 地域概要

京丹後市は、京都府の北西部、京都市から直線距離で約90kmに位置している。東西に約35km、南北に30km、面積501.84km²の広がりをもっている。本市の地形は標高700m以下の山々から流れる竹野川などの流域に盆地が形成され、海岸は岩礁帯から砂丘、湾や入江など多様な形態を見せている。

(2) 気象

平均気温は15.0℃であり、京都市の平均気温15.6℃とあまり差はないが、京都市の最高気温の20.5℃と比較すると京丹後市は3℃近く低い。11月から1月の気温は京都よりも若干高く、2月は同じとなっている。また、6月から9月は京都市よりも気温が低い。

降水量は1849.9mm、日照時間は1456.3時間であり、本市の気候は、冬は季節風が強く降雪も多い、日本海型の気象である。

(3) 地形

本市の平野部は、竹野川及び久美浜湾に流入する水系等により形成されている。

竹野川は上流から峰山盆地、間人低地を形成している。また、福田川、新庄川が網野低地を形成し、佐濃谷川、川上谷川沿いに久美浜湾低地が分布している。それぞれ盆地や低地部は扇状地性低地と三角州性低地に分類され、内部と周辺に一部丘陵地を形成している。

(4) 地区の状況

本地区は、竹野川に流入する徳良川の下流域に位置し、未整備地の小区画のほ場が広がる水田地帯である。水路にはコイ科の魚類やドジョウ、ナマズなどが確認された。また、トノサマガエルやマルタニシ、水田雑草などが多く確認されるなど、平地の水田地帯の生態系が存在している。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本事業は、京丹後市丹後町徳光34.7haを対象に土地改良基盤整備を実施する。現況の小区画のほ場、用排水路・道路の整備および農地の集団化を図り、耕地の汎用化のために必要な区域に暗渠排水工を施工し、土地生産性を高め、担い手の経営形態・土地利用方針等に合致した大区画の農業基盤の確立を図る。

2. 事業別面積 (第8表)

事業名 土地利用区分	農地整備事業(経営体育成型)						計						備考
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	その他	小計	水田	普通畑	牧草地	果樹園	その他	合計	
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	25.6	1.3			7.8	34.7	25.6	1.3			7.8	34.7	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

田畑輪換を実施し、水田の高い生産力を利用した生産拡大を進め、需要動向に安定的に対応し得る農業生産構造を確立する。そのため、地域の中心となる担い手農家を育成し、集団化及び規模拡大を図り、収益性の高い野菜類(かんしょ、九条ねぎ、トマト、ほうれんそう、いちご)と水稻、WCS用稲を組み合わせた複合経営及び合理化された省力経営を目指す。

2. 土地利用区分 (第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園	その他の果樹園	小計	原野	山林	その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農地整備事業 (経営体育成型)	現況	29.4	1.1					30.5			4.2	34.7	
	計画	25.6	1.3					26.9			7.8	34.7	
計	現況	29.4	1.1					30.5			4.2	34.7	
	計画	25.6	1.3					26.9			7.8	34.7	

3. 作付け方式

(第9表-2)

作業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目												2年目												3年目												備考								
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12									
農地整備事業（経営体育成型）	現況	水稻野菜	水田				水稻										水稻													水稻																		
							WCS用稲										WCS用稲													WCS用稲																		
							かんしょ										かんしょ													かんしょ																		
							九条ねぎ										九条ねぎ													九条ねぎ																		
							トマト										トマト													トマト																		
									ほうれんそう									ほうれんそう												ほうれんそう																		
											いちご																			いちご																		
	計画	水稻野菜	水田				水稻										水稻													水稻																		
							WCS用稲										WCS用稲													WCS用稲																		
							かんしょ										かんしょ													かんしょ																		
							九条ねぎ										九条ねぎ													九条ねぎ																		
							トマト										トマト													トマト																		
									ほうれんそう									ほうれんそう												ほうれんそう																		
									いちご																					いちご																		

4. 生産方式

(第9表－3)

事業名	項目 土地 利用 区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減 の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減	単位面積 当たり収 量増減	
農地整備事業 (経営体育成型)	水田	表作	水稻	27.8	12.3	△ 15.5	97.3	50.0	504	514	10	140.1	63.3	△ 76.8		△ 76.8	
									504	534	30	140.1	65.7	△ 74.4		△ 74.4	
									504	504		140.1	62.0	△ 78.1	△ 78.1		
			WCS用稲	0.5	11.3	10.8	1.8	45.5	1,398	1,426	28	7.0	161.1	154.1		154.1	
									1,398	1,482	84	7.0	167.5	160.5		160.5	
									1,398	1,398		7.0	158.0	151.0	151.0		
			かんしょ	0.1	0.4	0.3	0.3	1.5	2,080	2,350	270	2.1	9.4	7.3		7.3	
									2,080	2,080		2.1	8.3	6.2	6.2		
			九条ねぎ	0.1	0.4	0.3	0.3	1.5	2,256	2,549	293	2.3	10.2	7.9		7.9	
									2,256	2,256		2.3	9.1	6.8	6.8		
			トマト	0.1	0.4	0.3	0.3	1.5	2,643	3,040	397	2.6	12.2	9.6		9.6	
									2,643	2,643		2.6	10.5	7.9	7.9		
		裏作															
		小計			28.6	24.8	△ 3.8	100.0	100.0							93.8	
	普通畑	春夏作	ほうれんそう	0.6	0.7	0.1	100.0	100.0	1,375	1,554	179	8.3	10.9	2.6		2.6	
									1,375	1,375		8.3	9.7	1.4	1.4		
		秋冬作	いちご	0.2	0.4	0.2	33.3	57.1	610	702	92	1.2	2.8	1.6		1.6	
									610	610		1.2	2.4	1.2	1.2		
		小計			0.8	1.1	0.3	133.3	157.1							2.6	
	計			29.4	25.9	△ 3.5											
合計			29.4	25.9	△ 3.5												

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
農地整備事業 (経営体育成型)	水田	水稻	12.3	人力	41.5	21.7	△ 19.8	10a区画乾田→50a区画乾田
				機械力	23.4	19.3	△ 4.1	
		WCS用稲	11.3	人力	49.0	19.1	△ 29.9	
				機械力	45.0	17.3	△ 27.7	
		かんしょ	0.4	人力	174.2	57.8	△ 116.4	
				機械力	12.4	7.6	△ 4.8	
		九条ねぎ	0.4	人力	319.4	30.9	△ 288.5	
				機械力	9.0	7.8	△ 1.2	
		トマト	0.4	人力	649.9	613.8	△ 36.1	
				機械力	15.9	9.7	△ 6.2	
	畑	ほうれんそう	0.7	人力	415.6	294.5	△ 121.1	
				機械力	12.1	4.4	△ 7.7	
		いちご	0.4	人力	747.6	570.3	△ 177.3	
				機械力	9.6	5.3	△ 4.3	
	小計		25.9					
合計		25.9						

6. 級地別土地利用区分 該当なし

7. 土地配分計画 該当なし

第3節 用水計画

1. 計画基準年

昭和30年

2. 計画かんがい方式

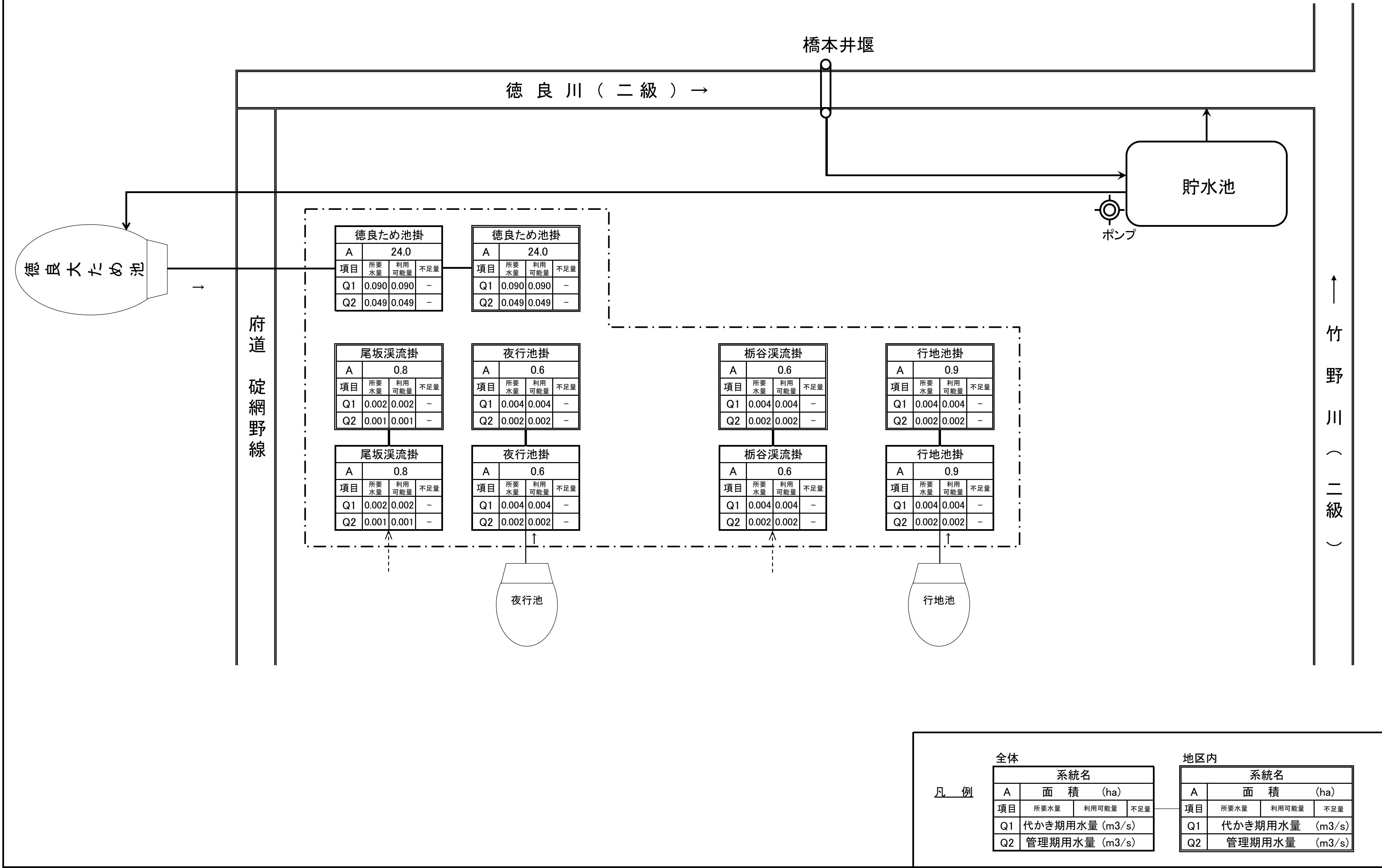
水田	水稻	-----	たん水かんがい	かんがい期間：5月1日～ 9月7日(130日)	(代掻きか期間：5月1日～5月10日(10日))
	畑作物	-----	うね間かんがい	かんがい期間：5月1日～ 9月7日(130日)	
普通畑			うね間かんがい	かんがい期間：通年	

3. 計画用水系統

別紙参照

計画用水系統模式図

別紙 計画用水系統



4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

系統名	項目	種別	受益面積(ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			消費 水量 (m³/s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
			事業名			普通期	代掻き期	面積 (ha)	1日当 り計画平 均かん 水深 (mm/日)	平均間 断日数 (日)	面積 (ha)	1日当 り計画平 均かん 水深 (mm/日)	平均間 断日数 (日)	面積 (ha)			平均 (m³/s)	最大 (m³/s)	
			農地整備事 業(経営体 育成型)		計	計画平均 単位用水 量 (mm/日)	計画代掻 き単位用 水量 (mm/日)												
		農業 用水	26.9		26.9	21.0	150	24.4	5.5	4	1.2	5.5	4	1.3	0.444	10 65	0.128	0.487	

(2) 営農雑用水 該当なし

5. 水源計画

(1) 水利用計画

有効雨量	水田(水 稲) : 5mm～80mm/日の80%
	(畑利用) : 5mm/日以上の80%で上限はTRAMまで
	普通畑 : 5mm/日以上の80%で上限はTRAMまで
日消費水量	普通畑 : 4.0mm
TRAM	水田(畑利用) : 24mm
	普通畑 : 24mm
間断日数	水田(畑利用) : 6日
	普通畑 : 6日
かんがい効率	水田(水 稲) : 90% たん水かんがい
	(畑利用) : 60% うね間かんがい
	普通畑 : 60% うね間かんがい

(第10表-2)

項目 区分		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
						水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水 量	全不足 水 量	水源名	水量		
		a (千m ³)	b (千m ³)	c=a-b (千m ³)	d=c/(1-α) (千m ³)		e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		損失率: α
(事業名)	農地整備事業(経営体 育成型)	10.6	0.6	10.0	11.1	河川及び ため池	11.1	11.1						10 20
計		10.6	0.6	10.0	11.1		11.1	11.1						

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		かんがい面積(ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
			事業名							
	直接	間接	農地整備事業 (経営体育成型)		計					
徳良大池	}		}			23.0	23.0		0.0986	}
峠谷池		0.450		24.0	24.0	3.5	3.5		0.0986	
徳良三津池						15.0	15.0		0.0986	
夜光池		0.090		0.6	0.6	1.0	1.0		0.0114	
行地池		0.090		0.9	0.9	4.0	4.0		0.0196	
計		0.630		25.5	25.5					

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)			取水量 (m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備考
			事 業 名			最大	平均		
			農地整備事業 (経営体育成型)		計				
橋本井堰	徳良川		24.0		24.0	0.052	0.052		
計			24.0		24.0				

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m³/s)		揚 水 機				備考
		事 業 名					実揚程 (m)	揚水量 (m³/min)	台数 (台)	全揚水量 (m³/min)	
		農地整備事業 (経営体育成型)		計	最大	平均					
揚水機場P1	貯水池	24.0		24.0	0.052	0.052	23.9	1.56	2	1.56	

(エ) 用水路

(第10表-6)

路線名	受益面積 (ha)	最大通水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	備考
支線用水路	24.00	0.0034～0.0982	5.33	VU φ 75～500	
支線用水路	2.90	0.0001～0.018	1.38	UF250～350 (H) 900×(B) 1600	
徳良大池送水管			1.96	VP φ 250	
計			8.67		

(オ) その他の水源施設 該当なし
 (3) 水温水質 該当なし

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

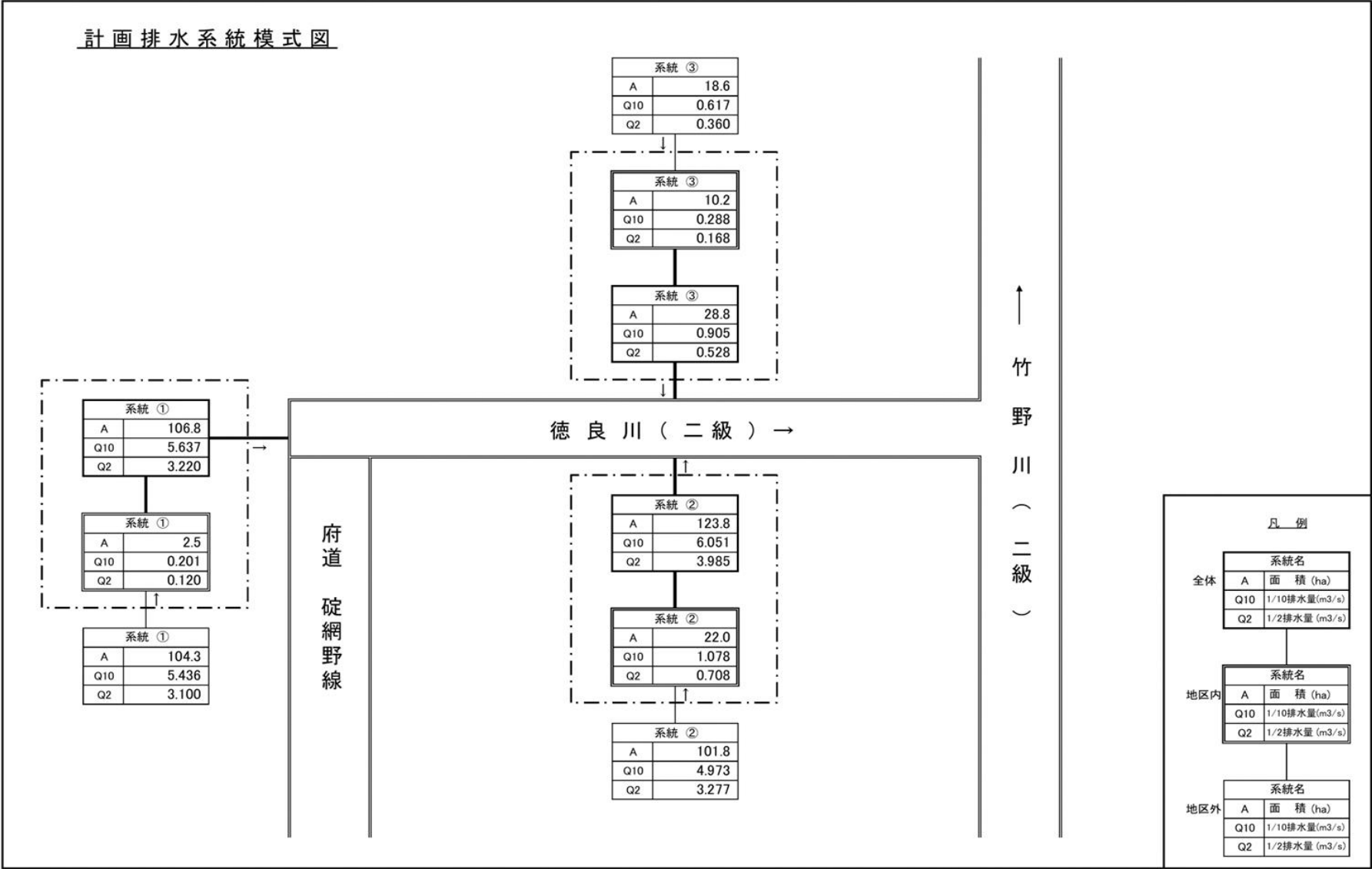
24mm/hr (4時間雨量 1/10年確率)

2. 計画排水方式

自然排水

3. 計画排水系統

別紙参照



4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (km ²)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全 排 水 量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備考
	事 業 名										山地	平地		山地	平地	
	農地整備事業 (経営体育成型)		計	山地	平地		自然排水	機械排水	山地	平地						
1	3.2		3.2	1.53	0.31	24					7.828	0.838		5.12	2.70	
2	15.8		15.8	1.00	0.22	24					5.461	0.617		5.46	2.80	
3	7.9		7.9	0.18	0.11	24					0.601	0.301		3.34	2.74	
計	26.9		26.9	2.71	0.64						13.890	1.756		5.13	1.93	

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なし

(2) 排水機

該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

名称	流域面積 (km2)	受益面積 (ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		農地整備事業(経営体育成型)		計				名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
支線排水路	3.35	34.7			0.0063～0.0940	0.84	VU φ 200～400	徳良川			
支線排水路					0.0063～0.0940	1.72	BF250～550				
支線排水路					0.3819～2.5303	2.41	2AP600×800～3AP900×1,600				
計						4.97					

(4) その他

該当なし

5. 湛水検討

該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道 路 別紙参照

(第12表-1)

路線名	幅(有効)	延長 (km)	構 造	既設道路 との関係	備考
支線道路	W=5.0m (4.0m)	2.92	敷き砂利舗装		第1号ボックスL=11.0m含む 第2号ボックスL=11.0m含む
耕作道路	W=3.0m (2.5m)	2.21	敷き砂利舗装		
計		5.13			

(2) 索 道 該当なし

2. 路線配置図

別紙路線配置図参照

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調整計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状 (第16表-1)

長辺(m)×短辺(m)	区画面積(ha)	全体面積(ha)	割合(%)	田面差(m)	備考
100 × 50	0.5	12.1	45.0	0.3	30a 区画率 82.6%
100 × 30	0.3	6.0	22.3	0.3	
100 × 20	0.2	3.8	14.1	0.3	
100 × 20	0.2	5.0	18.6	1.0	
計		26.9	100.0		

(2) 表土扱い (第16表-2)

面積(ha)	表土扱い要否の理由	扱い深(cm)	土量(m ³)	備考
26.9	地力保全	15	40,350	

(3) 末端道水路配置図 該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3)

項目 区分	面 積 (ha)			土壌統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (ℓ/s/ha)	計画後の 地下排水 (m)	集水渠出口以下 の排水方式	備考
	事 業 名								
	農地整備事業 (経営体育成型)		計						
	7.8		7.8	強グライ土壌強粘土 還元型	50	5.787	0.3	自然排水	D30
	1.6		1.6	強グライ土壌粘土 還元型	50	5.787	0.3	〃	D32
	10.9		10.9	強グライ土壌粘土 班鉄型	50	5.787	0.3	〃	D33
	4.9		4.9	強グライ土壌壤土 班鉄型	50	5.787	0.3	〃	D35
	0.4		0.4	黄褐色土壌壤土 マンガン型	50	5.787	0.3	〃	I83
計	25.6		25.6						

(2) 心土破碎 該当なし

3. 客 土 該当なし

4. 農地保全 該当なし

第10節 老朽ため池改修計画 該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池 (第17表-1)

名称	貯水池			位置						
堤体	形式	流域面積 (km2)		堤高	堤長	堤体積	基盤地盤 地質	貯水量		備考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
	掘り込み式	3. 35		m 3. 0	m 224	m3 202		m3 5, 049	m3 5, 049	
洪水吐	型式	洪水量		取水施設	型式	取水量	放流施設	型式	放流量	
	コンクリート三面張	(m3/s) 0. 089				(m3/s) 0. 0556			(m3/s)	

2. 頭首工 (第17表-2)

名称	橋本井堰			位置				備考
型式	堤高 (m)	堤長 (m)			取水位 (m)	取水量 (m3/s)	付帯施設	
		固定部	可動部	計				
ワイヤー式転倒ゲート	0.6	9.8	5.5	15.3	8.32	0.051	取水ゲート 0.4×0.5	

3. 揚水機 (第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m³/min)	揚 程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	形式	口径 (mm)	台数 (台)	形式	動力 (kw)	台数 (台)	
揚水機場P1		1.56	34.3	23.9	陸上	φ125	2	モーター	18.5	2	

4. 用水路

(第17-4表)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)			通水量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構造	勾配	主要 構造物	備考
	事業名				開渠	トンネルそ の他	計				
	農地整備事業 (経営体育成型)		計								
支線用水路	24.0		24.0	0.0034 ～0.0982		5.33	5.33	VU φ 75～500			
支線用水路	2.9		2.9	0.0001 ～0.018	1.38		1.38	UF250～350 (H)900×(B)1600			
徳良大池 送水管						1.96	1.96	VP φ 250			
					1.38	7.29	8.67				

5. その他かんがい施設

該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門 該当なし

2. 排水機 該当なし

3. 排水路 (第18表-3)

水路名	項目	受益面積		排水量 (m^3/s)	延 長 (km)			構造	勾配	主要 構造物	備考
		事業名			開渠	トンネル その他	計				
		農地整備事業 (経営体育 成型)	計								
支線排水路				0.0063 ～0.0940		0.84	0.84	VU ϕ 200～400			
支線排水路		34.7	34.7	0.0063 ～0.0940	1.72		1.72	BF250～550			
支線排水路				0.3819 ～2.5303	2.41		2.41	2AP600×800 ～3AP900×1,600			
		34.7	34.7		4.13	0.84	4.97				

4. その他排水施設 該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 路線名	幅(有効) (m)	延長 (km)	構造	付帯構造物			最急勾配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
支線道路	B=5.0m (4.0)	2.92	敷き砂利舗装							
耕作道路	B=3.0m (2.5)	2.21	敷き砂利舗装							
		5.13								

2. 索 道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調整施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量 (m ³)	面積 (ha)	土 量 (m ³)	
	12.1	1.0ha (100m×100m)		12.1	18,150	本地率 98%
	6.0	0.5ha (100m×50m)		6.0	9,000	
	3.8	0.3ha (100m×30m)		3.8	5,700	
	5.0	0.2ha (100m×20m)		5.0	7,500	
計	26.9			26.9	40,350	

(2) 末端用水路等 該当なし

(3) 末端排水路等 該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水 (第23表-4-1)

項目 区分	面 積 (ha)			集 水 渠				給 水 渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	事 業 名																
	農地整備事業 (経営体育成 型)		計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
	25.6		25.6	1/500	PE (有孔管)	50	720	1/300	VU	100	60	10	10				
計	25.6		25.6														

(2) 心土 該当なし

3. 客 該当なし

4. 除 該当なし

5. 農地 該当なし

第8節 老朽ため池 該当なし

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着工及び完了の予定時期

着 手

令和7年7月

完 了

令和13年3月

工 程 表

年度		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	備考
工種								
区画整理	整地工							
	道路工							
	用水路工							
	排水路工							
実施設計								
換地計画								

第8章 環境と調和の配慮

1. 基本方針

本地区は、ほ場整備工事に対し農村環境計画、田園環境整備マスタープランとの整合性を踏まえ、環境配慮場所、工法等については協議を行い決定する。

2. 当該地域の生態系の現況

① 農業生産環境

多面的機能支払交付金等を推進し、水路やため池の適正な管理課活動と補修等による施設の長寿命化を推進する。

② 環境保全対策のあり方

農業の有する多面的機能を発揮するため、計画的な農業基盤整備を推進し、優良農地の保全に努める。

3. 当該地区における環境配慮の方法

地区内で見つかった希少種については、本地区に隣接している既存の湿地に移動させる。

新設する貯水池に設置する維持管理用スロープを水性生物の避難路として活用する。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上で基本的な考え方

事業区域のほ場は狭小不整形であり、用排水路、農道も未整備であるため、区画整備であるため、区画整備を実施し、農業生産基盤を整備するものである。

このため換地計画を樹立し、農地の集団化を図り、当該地区の農業経営の改善に資するものである。

第2節 換地区の設定

(1) 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区	換地区の住所	面 積 (ha)
全 区	京都府京丹後市丹後町徳光428～3597	34.7

(2) 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地 積 の 基 準
全 区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画確定の日の登記簿地積とする。 ただし、上記の日から3ヶ月以内までに、測量士、測量技師補又は土地家屋調査士の測量した実測図に、隣接土地所有者の承諾書を添付して申し出があった場合、および登記簿地積と現況地積に著しい面積差が認められ、地元委員会等の申し出をもとに京丹後市が確認し、是正すべきと判断される場合は、図測（現況平面図）による地積を従前の地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位:ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地を定める土地													非農用地区域に換地を定める土地										機能交換に係る土地				一	総			
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施工 地域に含める 土地(令第1条 の9()書き)			計	本事業によっ て生ずる土地 改良施設用地			創設非農用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地						合 計	国	府	市町村他	合 計	一般 国 公 有 地	合 計		
						土地 改良 施設	その他	小計		改良区	その他	計			宅地	その他	計		農業経営合理化	施設用地	生活上・経営上	必要な施設用地	公用・公共用	施設用地								宅地等	計
全区	従前の土地	29.3	1.1					0	30.4						30.4				0.1						0.1		1.3	2.9	4.2		34.7		
	換地	25.6	1.3						26.9						26.9				0.1						0.1		1.3	6.4	7.7		34.7		
合計	従前の土地	29.3	1.1		0.0				30.4						30.4				0.1						0.1		1.3	2.9	4.2		34.7		
	換地	25.6	1.3						26.9						26.9				0.1						0.1		1.3	6.4	7.7		34.7		

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い
全 区	大字別	換地は各人の従前の土地が最も密集した位置を中心に定める。	目標団地数＝1～3団地	大区画は50a 上記で地形上やむを得ないとき標準区画を30a固定畦畔とする。

4. 非農用地換地の方法

別紙参照

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

区分 換地区名	番号	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他
全区	非-1	農業用資材置き場	農道横の単独田	581	異種目換地		
合計				581			

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

標準地比準方式

2. 清算の方法

増加額比例地積算方式(従前地比例)

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

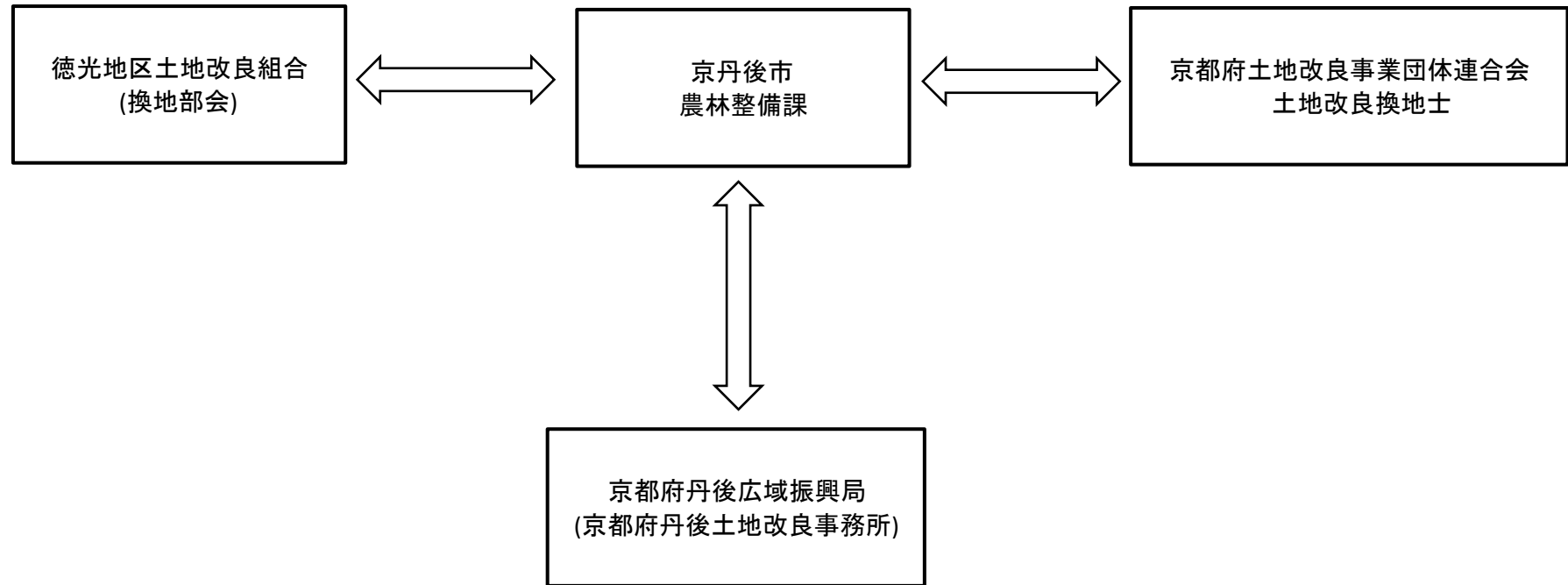
区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定年度	換地処分予定年度	備考
全区	令和8年度～	令和12年度	令和12年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

該当なし

換地区	選 定 事 務			処 分 事 務		
	直営・委託の区分及び項目	担当者 (委託者)	着手の時期	直営・委託の区分及び項目	担当者 (委託者)	完了の時期
全区	委託	京都府土地改良事業 団体連合会	工事着手 令和 7 年度 選定事務着手 令和 7 年度	委託 直営	京都府土地改良事業団 体連合会 京丹後市農林水産部農 林整備課	工事完了 令和 1 2 年度 換地計画樹立 令和 1 2 年度 換地処分 令和 1 2 年度

換地事務処理体制（機構図）及び処理体制



処理方針

換地事務は、京丹後市が京都府の事務要綱に基づき受託する。

換地処分事務処理は京都府土地改良事業団体連合会に再委託し土連の計算機を活用して事務の促進を図り、京丹後市は地元ほ場整備推進委員会の指導を行う。また、体制の確立に万全を期する計画である。

第10章 事業費の総額及び内訳

(単位：千円) (第26表)

区 分	事 業 費	備 考
1. 工事費	1, 126, 400	
1. 1 区画整理工	1, 062, 600	
1. 1. 1 整 地 工	178, 200	
1. 1. 2 道 路 工	85, 800	
1. 1. 3 用 水 路 工	535, 700	
1. 1. 4 排 水 路 工	262, 900	
1. 2 暗渠排水工	63, 800	
2. 測量試験費	150, 700	
3. 補 償 費	5, 500	
4. 換 地 費	56, 100	
事業費 計	1, 338, 700	
7. 事 務 費	66, 900	
総 合 計	1, 405, 600	

事務費＝事業費×5.0%(府営事業)

第11章 効 用

(単位：千円) (第27表)

事業名	項目 区分	年総効果(便益)額	年増加農業所得額		現況総農業所得額	備考
				うち機能向上分		
農地整備事業 (経営体育成型)	食料の安定供給の確保に関する効果	86, 443	86, 586			
	作物生産効果	4, 340	3, 114			
	品質向上効果					
	営農経費節減効果	83, 944	83, 944			
	維持管理費節減効果	△ 1, 841	△ 472			
	農業の持続的発展に関する効果	1, 008				
	耕作放棄防止効果	1, 008				
	農業の振興に関する効果	780				
	地籍確定効果	780				
	非農用地等創設効果					
	その他効果	276				
	国産農産物安定供給効果	276				総費用総便益比
	計	88, 507	86, 586	0	11, 662	1. 34

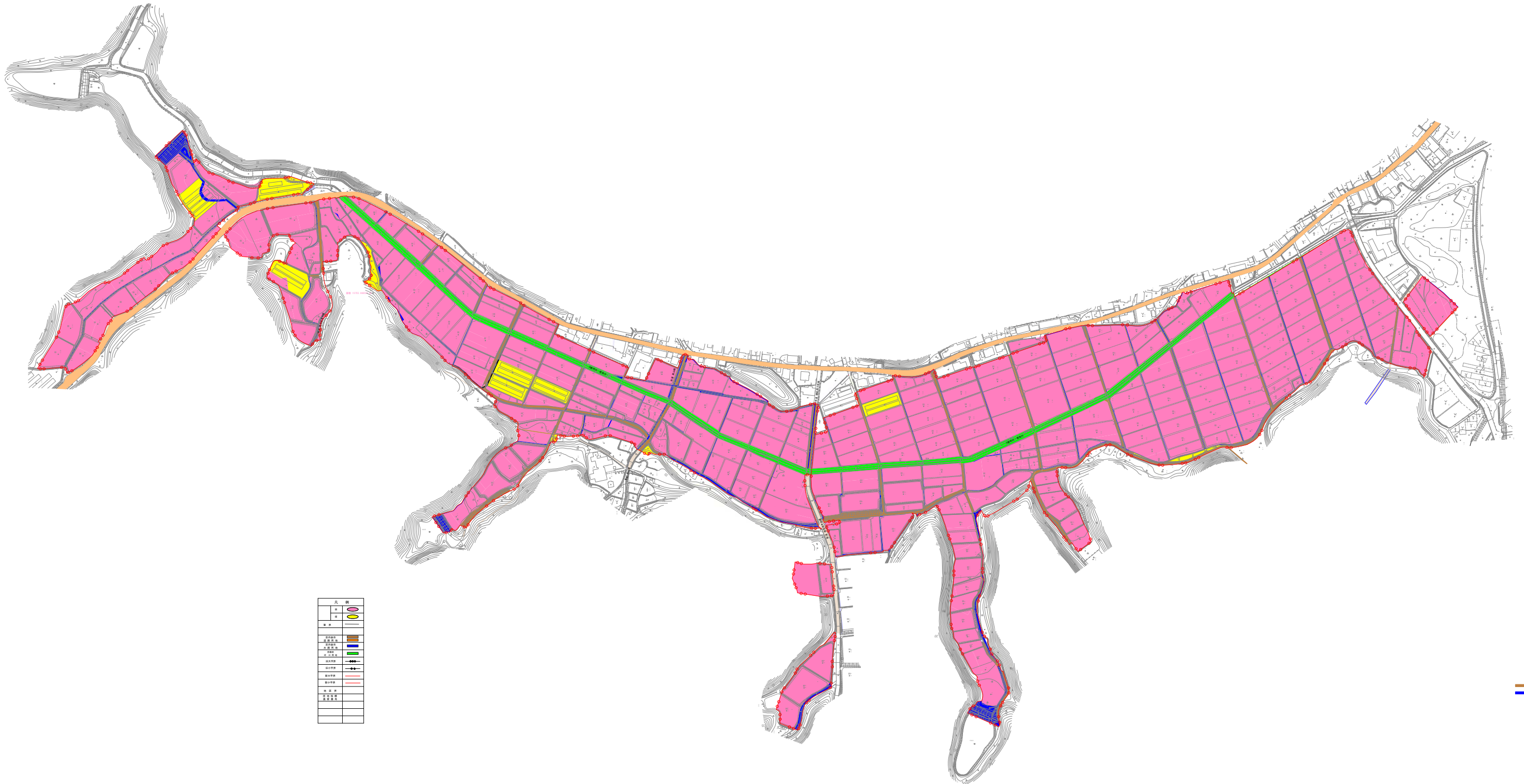
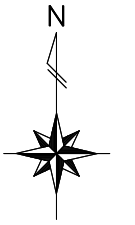
総便益比（現在価値化）1,598,887千円

第12章 関連する事業

第13章 現況・計画図面

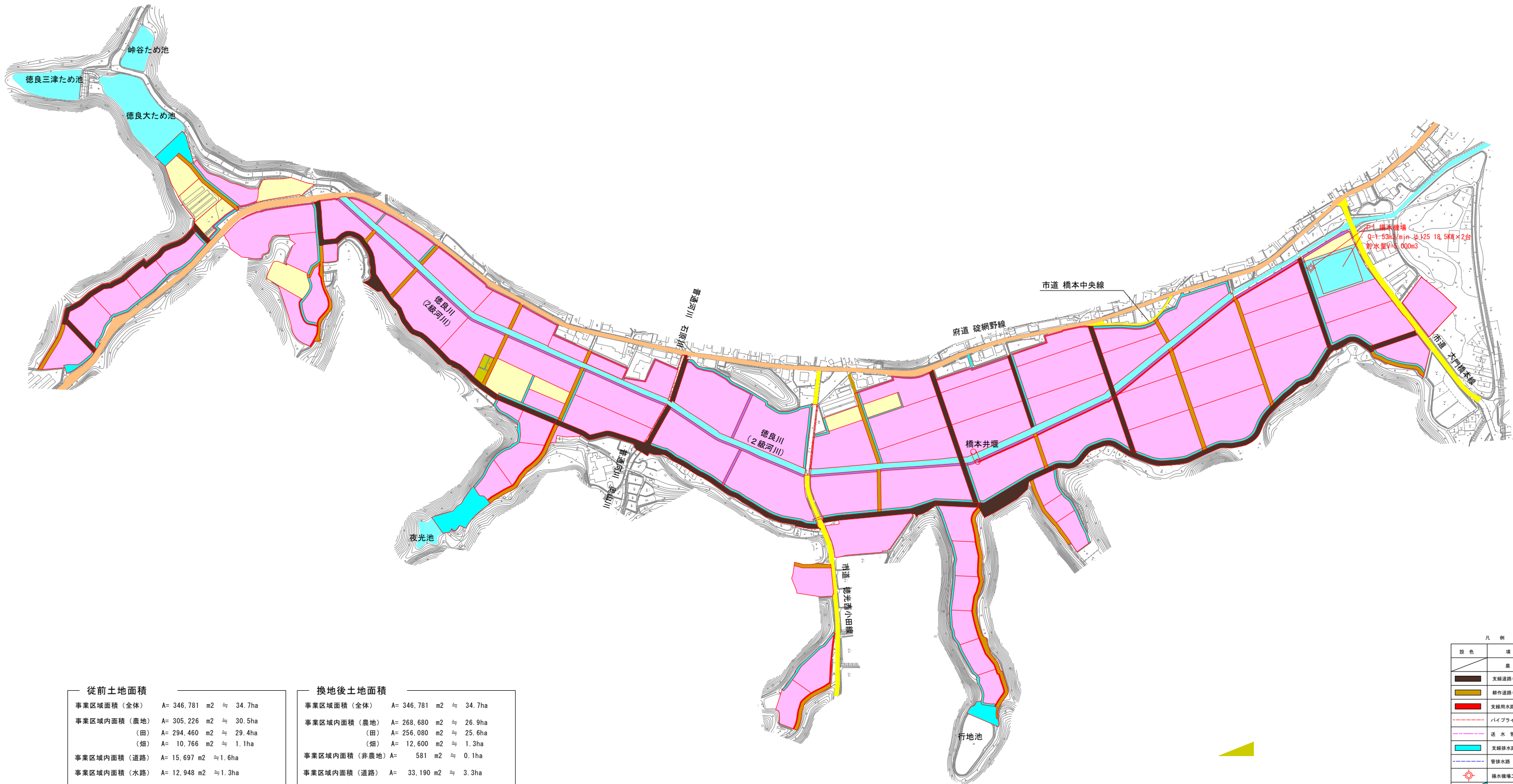
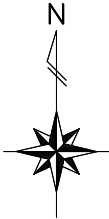
1. 現況平面図
2. 計画平面図及び土地利用計画図
3. 主要構造図

現況平面図

[illegible]

工事名	農業競争力強化農地整備事業 統括地区庄屋整備実施計画等策定業務		
図面名	計画図		
作成年月日			
縮 尺	S=1:2,000	図面番号	
会社名	京丹後市農林水産部		
事業(図)名	京丹後市		

令和7年度新規採択希望
農業競争力強化農地整備事業(徳光地区)
計画平面図



従前土地面積		
事業区域面積(全体)	A= 346,781 m2	≒ 34.7ha
事業区域内面積(農地)	A= 305,226 m2	≒ 30.5ha
(田)	A= 294,460 m2	≒ 29.4ha
(畑)	A= 10,766 m2	≒ 1.1ha
事業区域内面積(道路)	A= 15,697 m2	≒ 1.6ha
事業区域内面積(水路)	A= 12,948 m2	≒ 1.3ha
事業区域内面積(府河川)	A= 12,910 m2	≒ 1.3ha

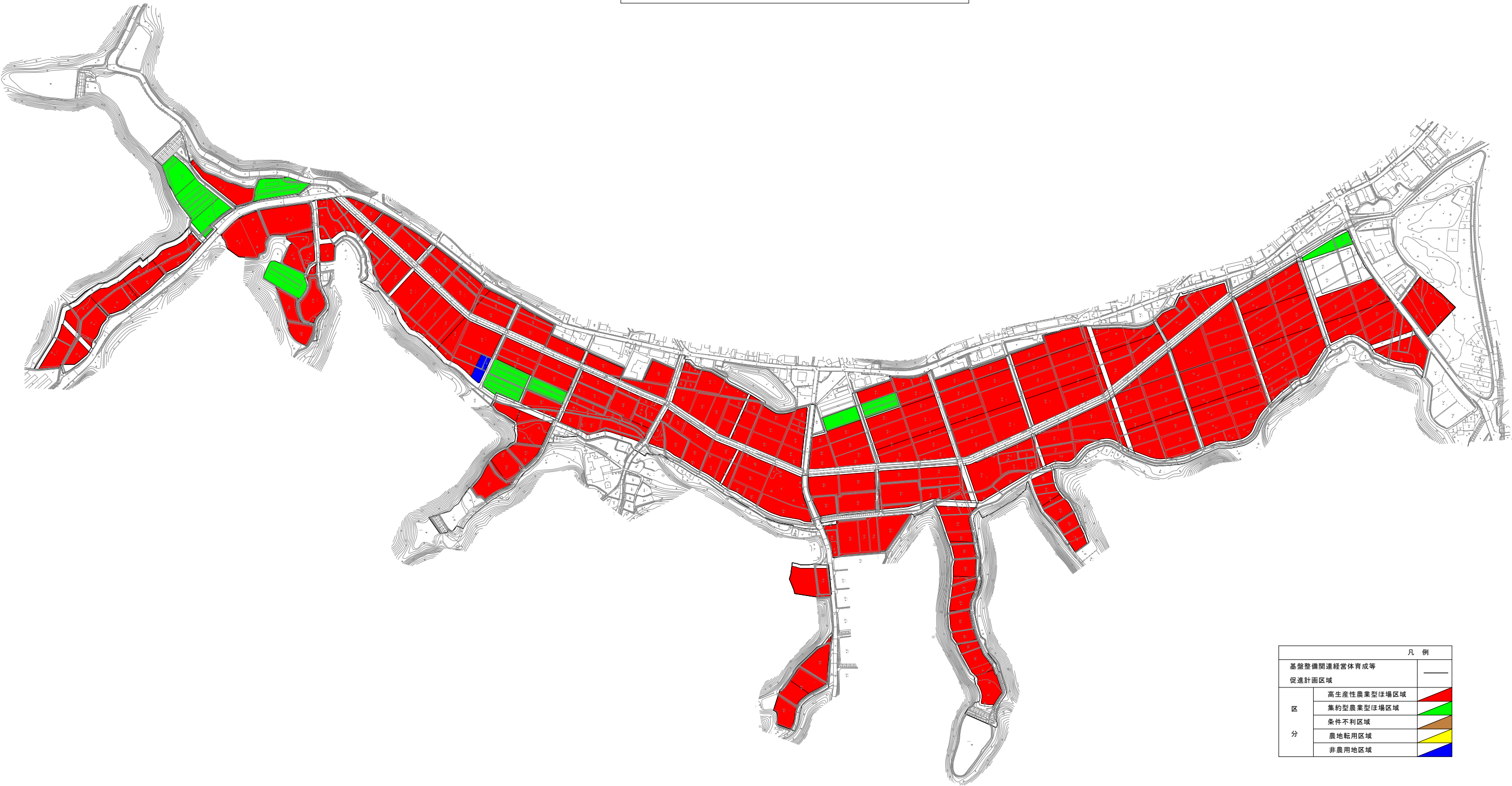
換地後土地面積		
事業区域面積(全体)	A= 346,781 m2	≒ 34.7ha
事業区域内面積(農地)	A= 268,680 m2	≒ 26.9ha
(田)	A= 256,080 m2	≒ 25.6ha
(畑)	A= 12,600 m2	≒ 1.3ha
事業区域内面積(非農地)	A= 581 m2	≒ 0.1ha
事業区域内面積(道路)	A= 33,190 m2	≒ 3.3ha
事業区域内面積(水路)	A= 31,420 m2	≒ 3.1ha
事業区域内面積(府河川)	A= 12,910 m2	≒ 1.3ha

凡 例	
設 色	項 目
	農 用 地
	支線道路(幅5.0m)
	耕作道路(幅3.0m)
	支線用水路(開水路)
	パイプライン
	送 水 管
	支線排水路(開水路)
	管排水路
	排水機場工
	貯 水 池

工事名	農業競争力強化農地整備事業 徳光地区住環境整備計画等決定業務		
図面名	詳細計画図		
作成年月日			
縮 尺	S=1:2,000	図面番号	
会社名	京丹後市農林水産部		
製 図 者	京丹後市		



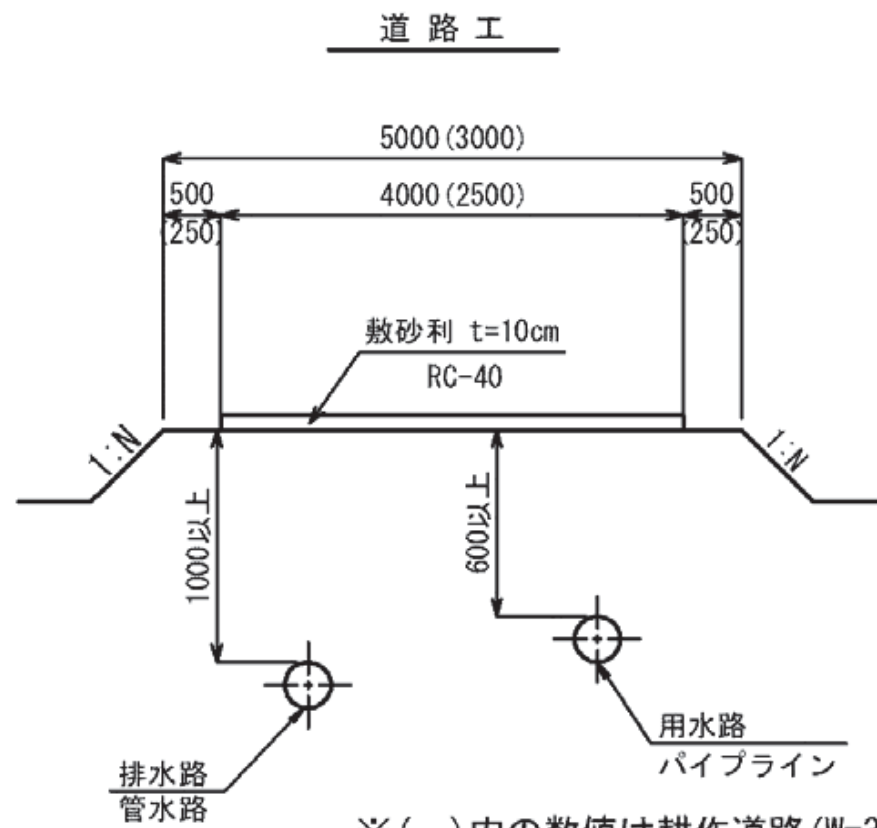
基盤整備関連経営体育成等促進計画区域図
兼 土地利用計画図 京都府 徳光地区



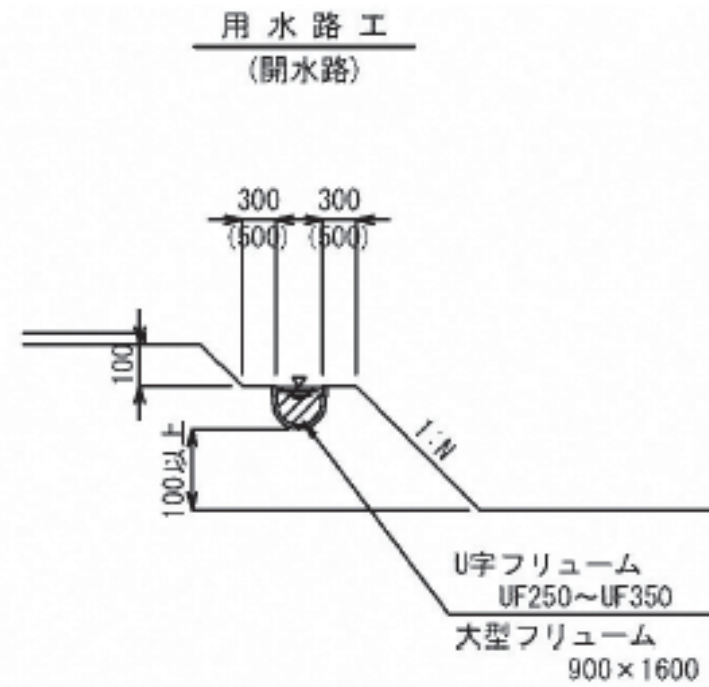
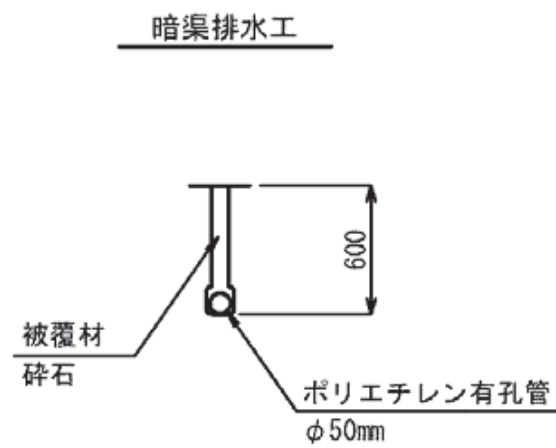
凡 例	
基盤整備関連経営体育成等促進計画区域	
区 分	高生産性農業型ほ場区域
	集約型農業型ほ場区域
	条件不利区域
	農地転用区域
	非農用区域

工事名	農業競争力強化農地整備事業 徳光地区住環境整備促進計画等指定業務		
図面名	計画図		
作成年月日			
縮 尺	S=1:2,000	図面番号	
会社名	京丹後市農林水産部		
製図(図)氏名	京丹後市		

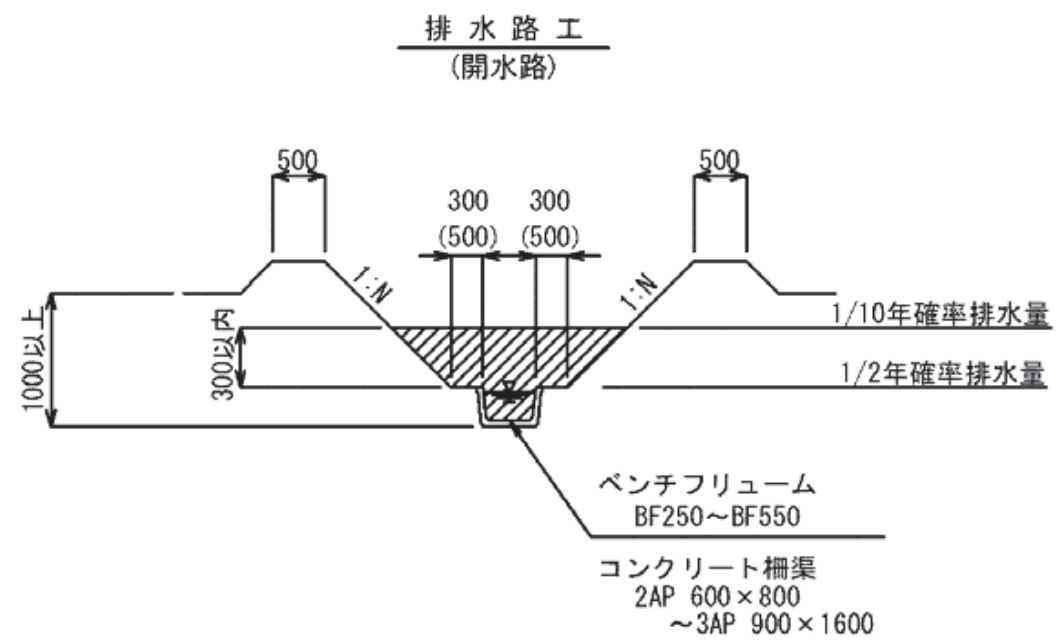
標準構造図



※ () 内の数値は耕作道路 (W=3.0m) の場合



※ () 内の数値は大型フリュームの場合



※ () 内の数値は柵渠の場合

